

次代の担い手が立会人

川西 高校生など13人が務める

24日に投票が行われた知事選で、川西町では高校生と大学生の計13人が投票立会人を務めた。

若者の投票率向上に繋げようと、町選挙管理委員会が募集してきた。令和元年の参院選に続き2回目。今回募

集に応じたのは、町内在住の高校生11人と大学生2人。今月21日には事前学習会に参加してきた。

この日は町内14の投票所のうち、7つの投票所で1、2人ずつ立ち会った。川西町荻の第七投票所（美郷幼稚

園）では、米商3年の齋藤花梨さんと米東3年の遠藤優奈（ゆな）さんの2人が従事。投票した町民に会釈をしながら見届けていた。

2人は有権者として選挙を初体験。齋藤さんは「学校の授業で選挙に興味を持ち応募した。若い人があまり投票所に来ないのでは」と感じ、遠藤さんは「立会いでは初めてな

ので緊張した。友人たちにも投票の大切さを広めていきたい」などと話していた。



会第
立会人
が務めた
高校生
投票所
七

町選挙
管に
よると、
令和元
年7月
21日
に行

われた前回の参院選の投票率は59・78%、このうち10代の投票率は29・48%だった。法改正で選任の要件が緩和されたことも受け、立会人として18、19歳となる高校生と学生に白羽の矢を立てた。町内在住の18、19歳となる242人（18歳134人、19歳108人）に募集をかけていた。